

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林病院	施設所管課	健康づくり推進課
指定管理者名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(事業計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a a
	2 医療廃棄物等において環境への配慮がなされている。	a a
	3 施設利用における公平性(経済的・疾病的・年齢)が確保されている。	a a
	4 自治体・地域医療機関等との意見交換や連携が適切に行われている。	a a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a a
	8 利用者への情報提供が適時かつ適切に行われている。(医療法による広告可能な範囲)	a a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a a
	12 南河内圏域救急医療体制の協力病院として救急医療の提供が適切になされている。	a a
社会貢献事業	13 市と連携・協力しながら、政策的医療の提供など、公的病院としての役割を果たしている。	a a
	14 社会貢献事業の内容が、施設の利用を促進し、また施設目的の達成に寄与している。	a a
収支計画	15 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	/ /
	16 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	/ /
人員配置計画	17 提案に基づき、安定した医療提供のための人員配置・勤務体制となっている。	a a
	18 障害者雇用促進法を遵守している。	a a
人材育成についての考え方及び研修計画	19 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a a
	20 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a a
危機管理策	21 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a a

	自己	担当課
日常の安全管理	22 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a a
	23 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a a
その他	24 医療用機器を含む備品を適切に管理している。	a a
	25 外部受託者の業務の点検・評価が適正に行われている。	a a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	患者の待ち時間について、統計的なデータ分析等による予約人数の調整を行うなど、待ち時間の短縮に努めるとともに、システム更新時には、待ち時間表示システムの導入を行うなど、患者が納得して待てるよう待ち時間の明確化に努めること。	外来患者の待ち時間については、過去の診療実績統計データより分析を行い、予約枠数・時間・表示の仕方等の調整により可能な限り待ち時間の短縮に努められている。会計の待ち時間については、午前中に窓口を1ブース増設し、改善に努められている。また、新病院開業時に刷新する病院情報システムでは、待ち時間の表示や携帯端末等を利用した表示の仕組みの導入を行う予定である。
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

富田林病院は、南河内医療圏の中核的病院であり、市民の命と健康を守る公的病院として、本市の救急や小児急病診療、災害時医療等の政策的医療を担っております。また、本市、近畿大学医学部、大阪府済生会の三者による医療機能連携協定により、循環器内科医を中心に医師の確保が進み、入院患者や救急患者等の受け入れが大幅に増えております。会計窓口等の接遇や待ち時間等については、改善の余地がありますが、今後も本市の医療機能を担う中心的な病院となりますことから、現状に甘んじることなく研鑽に励み、更なるレベルアップを期待するものです。

【千円】

[参考]	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入合計	/	/	/	/	/	/
支出合計	/	/	/	/	/	/

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
入院患者数	71,558	64,506	78,475	81,391	81,395	83,999
外来患者数	187,000	190,296	196,700	192,732	191,080	188,641

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
病床利用率	77.9	70.2	85.6	88.8	88.8	91.7

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立喜志駅地下自転車駐車場	施設所管課	道路交通課
指定管理者名	センターパーキング富田林		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	a
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	a
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	b	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	より一層の利用者ニーズを把握するため、利用者アンケートの回収率を高める工夫を行ってください。	アンケートの回収率が20%を割っていたためアンケート内容について、お客様に回答していただきやすい内容に変更するとともに、配布する際に粗品をお付けすることにより、回収率アップを図る事としました。
イ	いわゆる障害者差別解消法の施行や近年の外国人訪日客の増加などの社会環境の変化も勘案した研修内容の充実について、外部の専門家の活用も視野に入れた検討を行なってください。また、AEDの取り扱いについては、全職員が操作できる体制づくりを行ってください。	障害者差別解消法については、管理員対象に行っている研修の中に組み入れるようにしました。AED研修については年1回実施していますが、全職員への実施とはなっておらず、全管理員に実施できるよう勤務状況に合わせ全員が参加できるよう調整しました。
ウ		

⑤評価者コメント

基本方針及び計画に基づいた運営を行っている。利用率もH28年度と比較して、伸びを示している。また、今年度の支出面に関しては電灯設備に関して昨年度LED化に順次取組み環境保護と経費の節減を図るものの光熱費はバイコレーター改修等により前年比若干増加となった。また人件費、一般管理費にて増加がみられた。今年度の収支では、支出減に努めたことと収入増により全体としては黒字となり、本市へ前年対比増額にて納付していただくことができた。しかしながら、今後の運営を考える上で修繕、修理等が必須となることから、新たな施策を講じて本市と協議の上、よりいっそうの改善を図りながら業務遂行する必要がある。

[参考]

	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金	18,664	18,376	18,748	19,486	18,832	20,663

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	10,882	11,130	10,918	13,226	10,954

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	—	74.9	—	78.4	—

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農業振興課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 来園者へのサービス向上並びに利用者増加策について、創意工夫により、具体的手立てを検討し、順次実施してください。	平成29年度の取り組みとして、ホームページの刷新、6~7月の閑散期対策として、アジサイ苗3000株植栽により園内アジサイ園の充実、どろんこ広場近くに手作り遊具広場を増設、鯉釣りの好評を受け釣り池の増設などの取り組みと、恒例になったミニ農業祭「東条産(もん)フェア」で、フリーマーケット(手作り雑貨等)との同時開催で賑わいを図るなど、サービス向上及び利用者増加を目指した取り組みを行っている。
イ 収穫体験は農業公園の大きな魅力であり、来園者ニーズを踏まえた、収穫体験作物の作付計画を検討してください。	イチゴの収穫体験の高いニーズにこたえるためのハウス増設を引き続き検討中である。育成中の新たな収穫体験果樹は、2019年度開始予定が、ブルーベリー・リンゴ・柿・梨(幸水)・キウイ・スモモであり、2020年度開始予定が、栗・シャインマスカットとなっており、育成を継続している。
ウ 農のみに頼らない公園運営に向け、従来から取り組まれている農業関連の研修に加え、職員の経営意識・スキル養成のための取り組みの充実を図ってください。	全職員を対象に、各チーム単位で、顧客対応・収益・品質と納期の3点を基軸に教育を実施。各チーム単位で、担当する生産物や仕事内容の勉強会を実施。幹部候補生職員教育を実施。以上を確認した。

⑤評価者(所管課)コメント

平成29年度の有料入園者数は76,953人、利用料金収入は38,143,500円となり、前年度から大幅に回復しました。入園者を増やすために、小学生以下向けの招待券配布、閑散期の入園料金変動制試行、ホームページのリニューアル、新たにサバーフェスタの開始、イベント時に雑貨市をコラボ開催、園内遊具の増設、将来のもぎ取り体験の拡充のため苗木の育成などに取り組みました。改善指導として各種職員研修の充実を指導し、年度内に順次実施されました。利用者を増やす取り組みに注力する一方で、防災訓練が実施出来なかったなどの課題もあり、引き続き適切な事業実施を指導します。

【参考】	【千円】					
	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	97,776	97,776	99,364	99,364	99,396	99,396
利用料金	40,600	42,267	40,700	30,907	40,800	38,143

【参考】	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	86,000	81,342	87,000	63,188	83,000	76,953

【参考】	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	7.5	7.4	6.6	7.1	6.6	6.7

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。		
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	浴場の利用者数が減少し続けているので、類似施設の取り組み事例の情報収集や、利用者からのアイデア募集など、新規利用の獲得に向け、それらに基づく具体的対策を検討されたい。	浴場を今まで利用したことのない施設利用者に、浴場を一度利用してもらおうと、浴場無料の日を実施したが、効果は乏しかった。担当課と指定管理者で協議をした結果、30年度は、風呂の魅力を高めるために菖蒲湯など季節の湯を実施する予定。
イ	大規模災害に備えた訓練の実施を検討されたい。	南海トラフなど大地震の危険性が指摘されるため、地震から火災が発生することを想定して防災訓練を実施した。また、訓練に際しては職員の動きを確認するだけでなく、利用者の防災意識の向上を目的として訓練への参加を呼びかけ、避難訓練も行った。
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

昨年度より、担当課と社会福祉協議会で利用者数増加策について協議を行い、浴場の無料の日の実施やゲートボール場のPRなどを実施したが、効果は乏しかった。引き続き、協議を行い利用者増加策の検討をしていく。利用者代表者会議にて協議し、登録クラブ制度の見直しを行い、施設利用の公平性の確保に努めたことについては大きく評価できる。

【参考】	【千円】					
	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	49,589	49,589	50,310	50,310	50,255	50,255
利用料金	1,850	1,370	1,900	1,246	1,950	1,205

【人】	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	105,912	105,674	109,980	105,710	111,408

【%】	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	51.2	49.7	55.4	51.7	56.6

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入増加策について検討されたい。	新たな利用者獲得のために、「歌声きっさ」「終活講座」を実施している。29年度より本格始動した歌声きっさは好評で、回を重ねるごとに参加者が増えている。ただし、収益事業ではないため、29年度の収益は増になっていないが、新たな利用者が増えることは、今後の収益増に繋がる可能性があるため評価できる。
イ	研修について、より効率的に職員が職務として受講できるよう、勤務体制や研修形式について検討されたい。	外部研修に参加できる職員が限られているので、内部研修をより活発に行うことで情報共有と資質向上に努めている。
ウ	大規模災害に備えた訓練の実施を検討されたい。	29年度より地震を想定したシェイクアウト訓練を実施した。29年度は職員のみでの訓練だったが、30年度は利用者も参加する訓練となる予定。

⑤評価者(所管課)コメント

ほっとひろばの利用者減少により、全体的な利用者数は減少したが、「歌声きっさ」や「終活講座」といった新規イベントは好評で、特に歌声きっさは施設の設置目的である世代間交流を促進しているため評価できる。一方、浴場利用者の減少が続いており、担当課と指定管理者で利用者増加策についての議論を進める必要がある。

【千円】

【参考】	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,021	41,021	41,266	41,266	41,177	41,177
利用料金	5,401	4,852	5,174	4,660	5,202	4,501

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	65,484	67,223	66,132	64,218	61,572	58,343

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	43	43.1	43	41.8	43	40.8

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	一般財団法人 富田林市福祉公社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	b
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	b	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	b	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	c	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	c	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	2年続けて目標に達していない状況であるため、主な収入源となっている老健施設の利用料金収入増加策を検討されたい。	継続した取組以外に、他の事業所等に施設の空き状況を定期的にFAXを送り連携を強めることにより新規利用者確保に努めている。結果、28年度より新規利用者は増加したため、評価できる。
イ	福祉避難所としての運営マニュアル策定について、防災担当課とも協議しながら、大規模災害に備えた訓練の実施等を含め、早急に検討されたい。	福祉避難所の運営については、危機管理室、地域福祉課と継続して協議を進めている。また、大規模災害に備えた訓練については、29年度検討した結果30年度から実施することとなった。
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

健康づくり・世代間交流施設については、昨年から引き続き教室事業を主催することによる新たな利用者の獲得や、新しい教室・講座の開催により利用者数が増加した。老健施設については、近隣の事業所等に空き状況を定期的に連絡するなど新規獲得の努力をしたが、定期利用者の死亡や病気のために減少し通所事業で利用者が減少した。新たな利用者確保のための動きは評価できる。また、利用率の低い部屋の問題解消やサービス向上のため開館時間を延ばしていくなどの検討を担当課と施設管理者で継続していく予定。

【千円】

[参考]	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	137,224	137,224	136,520	136,520	134,812	134,812
利用料金	474,474	463,480	481,520	458,454	486,976	450,280

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	151,944	162,625	147,222	173,482	150,290	175,604

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	35	31.11	35	32.07	35	34.06

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	a
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	市民自身が文化を創造する拠点としても利用されるよう、これまでの利用者団体との会合のほかに、それに属さない利用者の声も聴く機会の創設について検討されたい。	定期的に意見交換会を開催する。参加者は事業団職員と利用者団体への呼びかけ並びに一般公募による。 ⇒広く利用者の声を聴く機会を積極的に創出されたい。
イ	今回の不正経理問題により、貴事業団の信頼が大きく失墜したことを深く受け止め、研修等の充実により法令遵守を徹底するとともに、再発防止策のさらなる強化を図られたい。	平成29年6月より新監事1名を加え、監事2名体制による3か月毎の期中監査の実施により、会計・業務の詳細内容の監査体制を強化している。また、市・公的機関等による研修への積極的な参加を推進する。 ⇒さらなるコンプライアンスの強化を図られたい。
ウ	安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入並びに事業収入を増加させる方策について検討されたい。	企業、互助会等向けルートセールスの強化によって収入増を図る。 ⇒収入増について、さらなる創意・工夫を図られたい。

⑤評価者コメント

すばるホールについて、市民自身が文化を創造する拠点として広く利用されるよう、多方面の利用者の声も聴き、市民文化の振興を図るとともに安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、利用料金収入や事業収入を増加されたい。また、コンプライアンスの強化については、今後とも重点的に取り組まれたい。

	【千円】					
	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	243,731	242,987	243,360	226,981	227,734	227,216
利用料金	57,500	58,330	57,800	55,610	58,100	57,171

	【人】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	255,000	214,656	250,220	221,721	230,680	222,946

	【%】					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	62.47	65.1	61.7	63.4	60	66.9

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	a	a
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	c	c
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	d	d
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	d	c
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	a	a
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 市民会館の利用者数が2年連続減少しており、利用料金の減収分が、管理経費の縮減により賄われている状況であるため、新規利用者の開拓やリピーターの確保策について検討されたい。	利用率向上のためには、①貸館利用者②自主事業参加者のどちらのご利用者にも「また来たい」と感じていただける『心地よい接客』を会館職員は心がけてまいります。自主事業参加者の拡大には、既存参加者の口コミに加え、地元集客施設等への会館チラシの配布設置をお願いするなど、会館の存在を知って頂くとともに、少しでも市民の方々の興味をひくことができる自主事業の展開や広報活動に取り組んで参ります。⇒利用者増に効果的と考える。
イ 自主事業、各種講座の定員充足率を向上させるため、新規団体の誘致やPR活動の工夫など施設の定期利用へ繋げるための方策について検討されたい。	会館公式HPやFacebookのイベント情報などを頻繁に更新し、タイムリーな情報の提供を心がけています。地域イベント(ひろとん等)への参加後は毎年、新規利用者が一定数増加する実績がありますので、今年度も積極的に参加し、事業PRに努めて参ります。また、地元大学校へのアプローチを行い、新たな事業の展開を図っていく予定です。⇒定期利用につながると考える。
ウ	

⑤評価者コメント

多彩な自主事業の展開や積極的なPR活動など、利用者獲得のための、継続的な努力は評価できるが、利用料金収入が計画通りに増えていない。安定的な運営のためにも、利用者の拡大、利用料金収入の増加が急務である。今後も、新規利用者やリピーターの獲得につながる継続的な取り組みに努められたい。

【千円】

[参考]	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	55,522	55,522	55,323	55,323	55,391	55,391
利用料金	20,300	17,384	20,500	16,790	20,800	16,851

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	108,925	113,520	117,000	111,674	117,575	112,661

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	75.0	68.1	83.6	69.2	83.3	72.1

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社オーエンス		
指定期間(年度)	平成26年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	b	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	a	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	b	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア 自主事業に傾倒しすぎないようにし、一般施設利用者数増加、そしてそれに伴った利用料金収入の増加を目指して頂きたい。	【対応】 自主事業参加から一般利用に繋がられるよう、周知を強化していきます。 【評価】 フェイスブックの活用やブログなどを活用し、当該施設の様子や施設の魅力などの情報を発信し、利用者の増加、利用料金収入の増加に寄与しているものと考えられる。
イ 「人権」の概念など総論的なものだけでなく、個別具体的な人権、例えばセクシャルマイノリティ、障がい者等の方々々が施設(設備)利用された際の対応方法含め、その配慮について、受講者が深くかつ正確に理解把握し、管理運営に活かすことのできるようして頂きたい。	【対応】 市出前講座を活用するなど職員の理解を深めるとともに、施設の掲示物(案内や掲示サイン等)を見直していきます。 【評価】 改善計画どおり、平成30年3月にLGBTを中心とした人権教育・啓発講座を実施され、管理運営に活かされるよう努力されている。
ウ	

⑤評価者(所管課)コメント

利用料金収入について増加傾向であるが、今年度においても提案額は超えていない。毎年度、利用者本位の運営に努めており、施設利用者数・稼働率については、徐々にではあるが向上している。また、アンケートからも利用者満足度が良くなっていると推測される。
利用者数・稼働率ともに増加傾向にあることを鑑みて、最終年度である30年度においては、利用料金の提案額達成に期待できるものと考えます。

【千円】

【参考】	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,050	41,050	41,050	41,050	41,050	41,050
利用料金	17,900	16,799	17,900	16,933	17,900	17,606

【人】

【参考】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用者数	88,121	87,023	88,121	93,635	88,121

【%】

【参考】	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	利用率	38.0	32.6	38.0	33.4	38.0

●指定管理者業務評価シート(3年目評価)

施設名	富田林市立スポーツ施設	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ 代表者 美津濃株式会社		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成30年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	a
	3 施設利用における公平性が確保されている。	a	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	c
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	a	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	c
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	a	b
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	b	b
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	b	b
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	a	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	a
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	a	a

④改善要求点(2年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

全体的に、仕様書や提案書、年度計画等を充足されており、利用者の立場に立った管理運営がされていると評価している。また、天候に左右されやすい屋外施設が多い中、利用率(稼働率)については、27年度当初と比較して若干下がっているが、利用者数については増加していることから、広報・PRを行うタイミング等も良かったものと思われる。次年度においては、施設利用者の増加をより一層期待しつつ、適切な管理・運営を行っていただけるものと思っています。

【千円】

【参考】	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	65,900	65,900	65,900	65,900	65,900	65,900
利用料金	12,000	12,540	12,500	13,521	12,600	13,301

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	815,350	717,180	767,485	813,016	771,400	756,752

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	40.6	36.0	39.2	36.6	39.6	35.5

●指定管理者業務評価シート(3年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	オーエンスグループ共同事業体		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成29年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	a	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	a	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	c	d
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	a
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	a
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	c
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	a	a
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	a
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	a	a
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	a	a
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	a	a
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	a	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	a	a
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	a	a
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	b	a

④改善要求点(2年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

オープン3年目となる年で、利用者数も対初年度対比120.1%、対前年度比105.1%と増加しており、市民の期待に応えることができています。安全面、防犯面においては、しっかりとした体制が整えられ、大きな事故やトラブル、苦情等もなく運営されている。また、人気となっている「流れるプールをつくろう!」や水泳教室など、積極的に自主事業を展開しており、利用者数の増加にもつながっていると考えます。29年度で、第一期の指定管理期間最終となりましたが、本市が期待していた以上の成果であったと思っております。

【千円】

【参考】	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	17,282	17,282	17,282	17,668	17,282	1,606
利用料金	1,270	2,186	1,325	2,415	1,380	2,439

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	12,000	18,581	12,600	21,326	12,000	22,403

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	100	155	100	169	100	187

●指定管理者業務評価シート(3年目評価)

施設名	観光交流施設 きらめきファクトリー	施設所管課	商工観光課
指定管理者名	富田林産業文化芸術連携体		
指定期間(年度)	平成27年度 ~ 平成29年度	評価対象年度	平成 29 年度

①評価の実施方法

下記の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告を基に所管課が評価を行う。

②評価基準

a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針	1 管理運営の基本方針の周知が適切になされている。	b	a
	2 管理運営において環境への配慮がなされている。	b	b
	3 施設利用における公平性が確保されている。	b	a
	4 地域住民・各種関係団体等との意見交換や連絡調整が適切に行われている。	b	b
コンプライアンスの取組み	5 業務実施における法令遵守のための体制が整備されている。	a	b
	6 個人情報保護に関する体制が整備されている。	a	b
利用者数・利用率向上策	7 利用者数向上策について、提案通りに実行されている。	a	b
	8 利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行っている。	b	b
利用者サービス向上策	9 利用者サービス向上策について、提案通りに実行されている。	b	b
	10 利用者意見・要望が事業等に適切に反映されている。	b	c
	11 苦情処理やトラブルへの対応について、市との連携、市への報告が適切に行われている。	b	b
自主事業	12 自主事業の実施により、施設が有効に活用されている。	a	a
収支計画	13 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《収入》	c	c
	14 収支予算書と比較して、収支状況が妥当である。《支出》	a	a
人員配置計画	15 提案に基づき、効率性と安全性を両立した人員配置・勤務体制となっている。	b	b
人材育成についての考え方及び研修計画	16 研修計画に基づき、人権啓発のための研修が実施されている。	b	b
	17 研修計画に基づき、人材育成のための研修が実施されている。	b	b
危機管理策	18 緊急時の体制や対応策について必要な対策を講じている。	b	b
日常の安全管理	19 事業計画書等に従い、防犯・防災・衛生管理業務を適切に行っている。	b	b
	20 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	b	b
	21 仕様書等に従い、清掃業務が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	22 備品台帳に記載された備品を適切に管理している。	b	b
	23 外部への業務委託が適正に行われている。	b	c
個別項目	24 観光資源の開発について、計画通りの取組が実施されている。	b	b
	25 魅力発信事業について、計画通りの事業が実施されている。	a	b

④改善要求点(2年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者(所管課)コメント

指定管理期間の3年を満了し、概ね年度計画に沿った取組みを推進したものと判断できます。また、きらめきファクトリーの知名度向上のため、他施設へ出張してのワークショップは、新しい取り組みとして評価できます。今後、さらに観光交流施設として観光資源の開発及び魅力発信に寄与するためのワークショップが考案できるよう、取り組んでいきたいと考えます。また、平日や夜間の来館者の増加につながるような手立てを講じていきたいと考えます。

【千円】

[参考]	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	22,517	22,517	22,311	22,311	22,943	22,943
利用料金	304	195	304	247	304	170

【人】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者数	11,700	28,740	28,800	25,897	27,100	26,302

【%】

	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用率	35.4	20.3	30.3	34.1	31.3	34.2